



新聞で作ろう三日月かぶと

毎週日曜発行
2026 5/3

河北新報社 TEL.022-211-1111 (月曜から金曜)

5日の「こどもの日」を前に「こども新聞 週刊かほピョンプレス」の紙面で作る「三日月かぶと」を考えたよ。協力してくれたのは東北大の折り紙サークルORUXE（オルゼ）です。仙台藩祖・伊達政宗のかぶとをモチーフに制作し、三日月の前立が映えるかっこいいデザインに仕上げてくれたよ。ぜひ、挑戦してみてくださいね！

4・5面に展開図、8面に折り方が載っているよ！

オルゼは2014年4月に結成しました。サークル名は「折るぜ」などといった言葉に由来し、東北大の理系学生ら34人が所属。仙台市太白区の八木山市民センターで月1回集まり、地元の折り紙愛好家や小学生と意思の作品を折っています。

代表は東北大工学部2年の平野裕大さん(19) 〓

こどもの日特集

東北大折り紙サークルがデザイン



こども新聞で作る三日月かぶとの試作品を見せる平野さん。「月を立体的に折るとかっこよく仕上がるよ」

神奈川県出身です。小学4年生のとき、折り紙の本に載っていたカブトムシを作ったのがきっかけで折り紙の世界に魅了されました。複雑な

折り紙作品に挑戦するのが好きで、「パズルのような感覚」で折り進めるそうです。今回の三日月かぶとは河北新報社から依頼を受

け、2月にデザインの検討を始めました。完成した形を頭の中に思い描き、そこから逆算して折り方を考えるのが平野さんのスタイル。子どもたちが作りやすいように難しい折り方をできる限り避け、色を塗った面だけが表に出るように工夫しました。

「タブロイド判のこども新聞は朝刊よりも小さく、子どもがかぶれるサイズにするのが難しかった」と平野さん。かぶとと三日月を別々に作り、最後に組み合わせるアイデアも自分で考えました。

平野さんは「完成が近づいてきたときのワクワク感が折り紙の面白さ。折り目をしっかりとつけるときれいに仕上がります。折り方の説明を見て分からないところがあったら、折り方動画を確認しながら作ってください」と笑顔で話します。

おいでよ！ワークショップ 10日、河北新報社

こども新聞で「三日月かぶと」を作るワークショップを10日午後1～4時、仙台市青葉区の河北新報社1階のセミナールームで開催します。東北大折り紙サークル「オルゼ」のメンバーが折り方を説明するほか、学生が作ったおきの折り紙作品を展示したり、折り紙で「母の日」のカーネーションを作ったりします。予約不要でどなたでも参加できます。入場無料。駐車場はありません。連絡先は教育・防災連携室022(211)1591。

2面	みんなのギモンにこたえるモン
3面	3分チャレンジ
4・5面	三日月かぶと展開図
6面	「かほく防災記者」6期生募集
7面	投稿特集
8面	三日月かぶと折り方図